

社会実験対象技術の検証項目

未普及解消技術については、コスト縮減や工期短縮が期待される反面、下水道としての機能確保の面や維持管理面など不明確な点が存在する。

今後、社会実験を通じて、個々の新技術に関して多面的に性能等の評価を行い、得られたデータを整理、分析し、必要に応じ技術改良を加えることとしている。

ここでは、社会実験の対象となる技術の性能評価に関する検証項目と、検証項目と検証方法を取りまとめたガイドラインについて紹介する。

1. 社会実験における検証項目

未普及技術の性能評価においては、今後、多くの自治体で本技術が採用されるように、様々な観点からの検証が必要と考えられる。社会実験においては、経済性、機能性、管理性、施工性等の観点から検証を行うこととする。

◎経済性

コスト縮減効果はあるか。

◎機能性

下水道としての機能（流下能力、処理水質など）を損なっていないか。

◎管理性

供用後の維持管理は容易か。

◎施工性

従来工法に比較し、施工は容易か。

設計から供用開始に至るまでの期間が短縮されているか。

◎留意点

想定される事故・トラブルとして何があるか。また、緊急時（事故）の対応はどうするか。

○その他の懸案事項

上記以外で、新たな問題は発生しないか。

表-1に、上記の観点を考慮した、各技術における検証項目一覧を示す。

2. 社会実験検証ガイドライン(案)

社会実験を実施する自治体が、円滑に社会実験を進めることができるように、既に提案されている新技術について、検証項目の考え方や検証の方法等を取りまとめた社会実験検証ガイドライン（案）を作成しているところである。

今後、本ガイドライン（案）は、未普及ホームページに掲載するなどして、PRしてゆく予定である。

表-1 検証項目一覧

	経済性	機能性	管理性	施工性	留意点	その他
管きよの露出配管	・建設費・維持管理費のコスト縮減効果	・管渠の材料特性 ・水質の変化	・住民参画による管理 軽減効果	・建設工期短縮効果	・リスクの抽出 ・対処法	・景観への影響 ・生活環境(騒音・臭 気)への影響
改良型伏越しの連 続的採用	・建設費・維持管理 費のコスト縮減効果	・流下能力 ・固形物の堆積状況	・維持管理機材の作 業性	・建設工期短縮効果	・リスクの抽出 ・対処法	
道路線形に合わ せた施工	・建設費・維持管理 費のコスト縮減効果	・流下状況 ・固形物の堆積状況	・維持管理機材の作 業性	・曲管部の埋設位置 特定対策の有効性 ・建設工期短縮効果	・リスクの抽出 ・対処法	・生活環境(騒音・臭 気)への影響
発生土の管きよ基 礎への利用	・建設費・維持管理 費のコスト縮減効果	・管体への影響	・舗装への影響	・建設工期短縮効果	・リスクの抽出 ・対処法	
流動化処理土の 管きよ基礎への 利用	・建設費・維持管理 費のコスト縮減効果	・管体への影響 ・遮水効果	・舗装への影響	・矢板引抜き後の空隙 充填率 ・強度の発現効果 ・建設工期短縮効果	・リスクの抽出 ・対処法	
工場製作型極小 規模処理施設	・建設費・維持管理 費のコスト縮減効果	・放流水質	・維持管理頻度	・転用の実効性 ・建設工期短縮効果	・リスクの抽出 ・対処法	